

2017/10～2017/12 にっしん景況レポート

2018/1

Vol.

7



日新信用金庫では、当金庫営業エリア内で事業を営む経営者の皆様からご協力をいただき、平成29年10～12月の景気の現状と平成30年1～3月期の見通しを調査する景気動向調査を実施しました。

対象業種は、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種です。

〈調査概要〉

1. 調査対象期間 : 平成29年10～12月の実績(12月については予想)
平成30年1～3月の見通し
2. 調査方法 : 営業店調査員による面接聴き取り
3. 調査対象先 : 当金庫営業エリア内の355社
4. 分析方法 : D.I.という指標を用いた分析。
D.I.とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、各質問項目について、「増加(良い、上昇)」とプラスの回答をした企業の割合(%)から、「減少(悪い、下降)」とマイナスの回答をした企業の割合(%)を差引いた指標で、構成比の差が判断D.I.となります。
各回答がプラス、マイナスどちらの方向に向かっているか、上向きの力が強いのか、下向きの力が強いのかを示す指標となります。
5. 期間について : 今期 = 平成29年10～12月
前期 = 平成29年7～9月
前年同期 = 平成28年10～12月
来期 = 平成30年1～3月
6. 業種別、地区別回答数

	地区合計	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	148	48	19	18	24	19	20
三木地区	54	17	11	6	8	9	3
神戸地区	153	25	24	17	40	25	22
業種合計	355	90	54	41	72	53	45

● 今期の景況

今期(平成29年10月～12月)の全業種における業況判断D.I.は12.1となり、前期実績と比して9.0ポイント改善した。売上額判断D.I.は23.4となり、前期実績と比して19.5ポイントの改善、収益判断D.I.は17.5となり、前期実績と比して17.5ポイント改善した。

売上額判断D.I.の前年同期比は15.5、収益判断D.I.の前年同期比は11.8となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益が増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

販売価格判断D.I.は15.0、仕入価格判断D.I.は33.7となり、販売価格と仕入価格はどちらも「上昇」と回答した企業の割合が多い結果となった。

資金繰り判断D.I.は4.2となり、資金繰りを「苦」と感じている企業より、資金繰りを「楽」と感じている企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲42.3となり、前期実績よりも4.7ポイント低下し、調査開始の平成28年4月から依然として人手不足感が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期(平成30年1月～3月)の予想業況判断D.I.は11.5と今期実績12.1から0.6ポイント低下する見通しとなっている。また、予想売上額判断D.I.は5.1、予想収益判断D.I.は▲0.8となり、いずれも低下する見通しとなっている。

〈「御社の業況」回答数〉

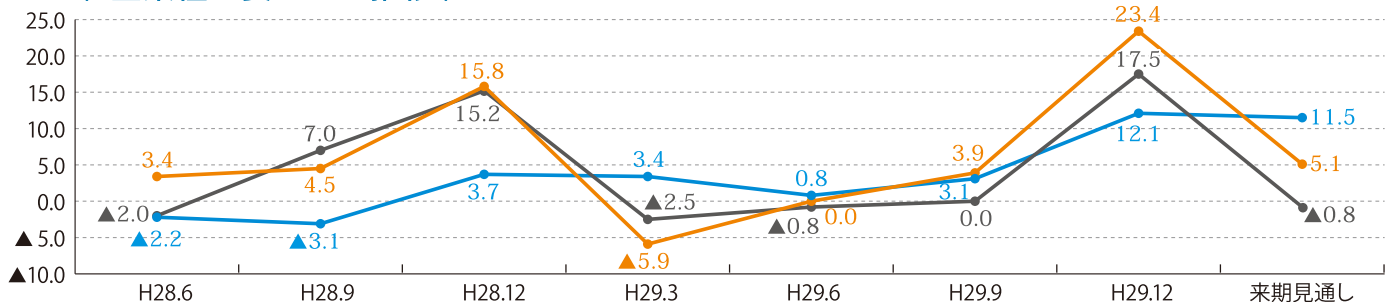
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
回答数	20	95	168	67	5	355
回答割合	5.6%	26.8%	47.3%	18.9%	1.4%	100%

$$\text{業況判断D.I.} = 32.394\% - 20.282\% \div 12.1$$

〈平成29年10～12月地区別業況判断D.I.〉

	全業種	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	24.3	45.8	5.3	▲22.2	4.2	42.1	40.0
三木地区	0.0	▲11.8	0.0	▲33.3	12.5	11.1	66.7
神戸地区	4.6	12.0	▲20.8	▲5.9	15.0	20.0	▲4.5
全地区	12.1	25.6	▲7.4	▲17.1	11.1	26.4	20.0

〈「全業種主要D.I.の推移」〉



当庫で調査を開始した平成28年4月から今回調査分までの主要D.I.の推移を見ると、売上額判断D.I.・収益判断D.I.の推移は年末に上昇し次の期に低下するというサイクルが見られる。また、業況判断D.I.は、緩やかではあるが上昇傾向が続いている。

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は25.6となり、前期実績と比して11.2ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.は27.8、収益判断D.I.は23.3となり、前期実績と比してそれぞれ14.3ポイント、15.5ポイントと大幅に改善した。売上額判断D.I.の前年同期比は27.8、収益判断D.I.の前年同期比は23.3となり、昨年の同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲37.8となり、前期実績から0.4ポイント小幅改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は16.7と今期実績から8.9ポイント低下する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は4.4、予想収益判断D.I.は1.1となり、それぞれ今期実績から23.4ポイント、22.2ポイントと大幅に低下する見通しとなっている。

〈製造業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	14.4	25.6	16.7	販売価格(前期比)	6.7	12.2	2.2
売上額(前期比)	13.5	27.8	4.4	仕入価格(前期比)	23.3	34.4	24.4
売上額(前年同期比)	14.4	27.8	—	資金繰り(楽-苦)	2.2	10.0	8.9
収益(前期比)	7.8	23.3	1.1	人手不足(過剰-不足)	▲38.2	▲37.8	▲37.8
収益(前年同期比)	18.9	23.3	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲7.4となり、前期実績と比して5.1ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.は18.5、収益判断D.I.は16.7となり、前期実績と比してそれぞれ25.6ポイント、23.8ポイントと大幅に改善した。売上額判断D.I.の前年同期比は3.7、収益判断D.I.の前年同期比は▲5.6となり、昨年の同じ時期に比べ売上額は増加、収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲22.2となり、前期実績から4.6ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲7.4と今期実績と同じ見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.および予想収益判断D.I.は共に▲3.7となり、それぞれ今期実績から22.2ポイント、20.4ポイントと大幅に低下する見通しとなっている。

〈卸売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲12.5	▲7.4	▲7.4	販売価格(前期比)	3.6	20.4	13.0
売上額(前期比)	▲7.1	18.5	▲3.7	仕入価格(前期比)	26.8	31.5	16.7
売上額(前年同期比)	8.9	3.7	—	資金繰り(楽-苦)	▲7.1	0.0	0.0
収益(前期比)	▲7.1	16.7	▲3.7	人手不足(過剰-不足)	▲26.8	▲22.2	▲20.4
収益(前年同期比)	3.6	▲5.6	—				

○ 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲17.1となり、前期実績と比して4.9ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.および収益判断D.I.は共に0.0となり、前期実績と比してそれぞれ14.6ポイント、24.4ポイントと大幅に改善した。売上額判断D.I.の前年同期比は▲9.8、収益判断D.I.の前年同期比は▲14.6となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益が減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲39.0となり、前期実績よりも12.2ポイント低下し、さらに人手不足感が強い状況となっている。

○ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲12.2と今期実績から4.9ポイント改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は▲12.5、予想収益判断D.I.は▲20.0となり、それぞれ今期実績から12.5ポイント、20.0ポイント低下する見通しとなっている。

〈小売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲12.2	▲17.1	▲12.2	販売価格(前期比)	▲4.9	17.1	10.0
売上額(前期比)	▲14.6	0.0	▲12.5	仕入価格(前期比)	22.0	34.1	25.0
売上額(前年同期比)	12.2	▲9.8	—	資金繰り(楽-苦)	▲19.5	▲26.8	▲15.0
収益(前期比)	▲24.4	0.0	▲20.0	人手不足(過剰-不足)	▲26.8	▲39.0	▲45.0
収益(前年同期比)	2.4	▲14.6	—				

○ 今期の景況

今期の業況判断D.I.は11.1となり、前期実績と比して8.4ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.は25.0、収益判断D.I.は20.8となり、前期実績と比してそれぞれ20.9ポイント、19.4ポイントと大幅に改善した。また売上額判断D.I.の前年同期比は19.4、収益判断D.I.の前年同期比は13.9となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益が増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲65.3となり、前期実績よりも5.0ポイント低下し、さらに人手不足感が強い状況となっている。

○ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は13.9と今期実績から2.8ポイント改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は8.3、予想収益判断D.I.は2.8となり、それぞれ今期実績から16.7ポイント、18.0ポイント低下する見通しとなっている。

〈サービス業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	2.7	11.1	13.9	販売価格(前期比)	▲4.1	11.1	11.1
売上額(前期比)	4.1	25.0	8.3	仕入価格(前期比)	17.8	31.9	26.4
売上額(前年同期比)	19.2	19.4	—	資金繰り(楽-苦)	▲4.1	0.0	▲2.8
収益(前期比)	1.4	20.8	2.8	人手不足(過剰-不足)	▲60.3	▲65.3	▲63.9
収益(前年同期比)	15.1	13.9	—				

○ 今期の景況

今期の業況判断D.I.は26.4となり、前期実績と比して24.5ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.が34.0、収益判断D.I.が17.0となり、前期実績と比してそれぞれ32.1ポイント、15.1ポイント改善した。また売上額判断D.I.の前年同期比は9.4、収益判断D.I.の前年同期比は17.0となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益が増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲52.8となり、前期実績から15.8ポイント低下し、さらに人手不足感が強い状況となっている。

○ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は30.2と今期実績から3.8ポイント改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は17.3、予想収益判断D.I.は▲1.9となり、それぞれ今期実績から16.7ポイント、18.9ポイント低下する見通しとなっている。

〈 建設業主要D.I. 〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	1.9	26.4	30.2	販売価格(前期比)	1.9	17.0	7.7
売上額(前期比)	1.9	34.0	17.3	仕入価格(前期比)	22.6	41.5	29.4
売上額(前年同期比)	3.7	9.4	—	資金繰り(楽-苦)	▲1.9	15.1	9.6
収益(前期比)	1.9	17.0	▲1.9	人手不足(過剰-不足)	▲37.0	▲52.8	▲48.1
収益(前年同期比)	▲1.9	17.0	—				

○ 今期の景況

今期の業況判断D.I.は20.0となり、前期実績と比して4.8ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.は26.7、収益判断D.I.は17.8となり、前期実績と比してそれぞれ9.3ポイント、6.9ポイント改善した。また売上額判断D.I.の前年同期比は28.9、収益判断D.I.の前年同期比は24.4となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲28.9となり、前期実績よりも5.0ポイント低下し、さらに人手不足感が強い状況となっている。

○ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は20.0と今期実績と同じ見通しとなっている。予想売上額判断D.I.は13.3、予想収益判断D.I.は11.1となり、それぞれ今期実績から13.4ポイント、6.7ポイント低下する見通しとなっている。

〈 不動産業主要D.I. 〉

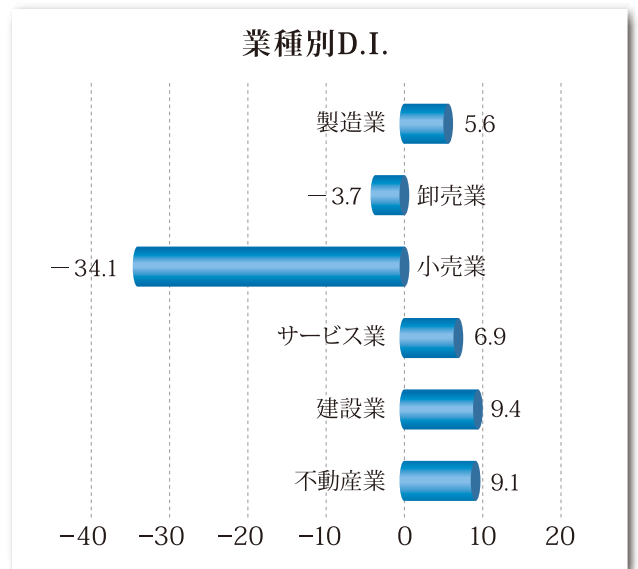
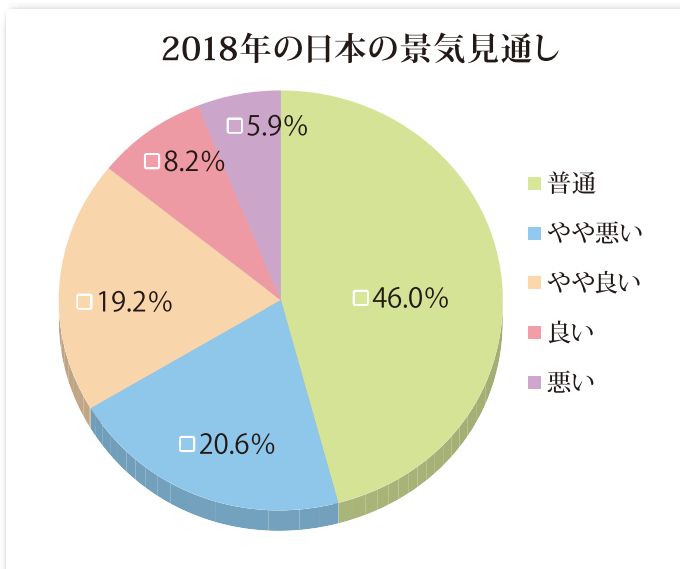
	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	15.2	20.0	20.0	販売価格(前期比)	20.0	15.9	15.9
売上額(前期比)	17.4	26.7	13.3	仕入価格(前期比)	33.3	27.9	27.9
売上額(前年同期比)	23.9	28.9	—	資金繰り(楽-苦)	10.9	20.0	15.6
収益(前期比)	10.9	17.8	11.1	人手不足(過剰-不足)	▲23.9	▲28.9	▲31.1
収益(前年同期比)	15.2	24.4	—				

● ～2018年の日本の景気見通しについて～

日本の景気の見通しについて、「普通(46.0%)」と回答した企業が最も多く、次いで「やや悪い(20.6%)」、「やや良い(19.2%)」、「良い(8.2%)」、「悪い(5.9%)」となった。「非常に良い」、「非常に悪い」と回答した企業はなかった。

「良い」(「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計)と回答する割合が27.4%、「悪い」(「非常に悪い」・「悪い」・「やや悪い」の合計)が26.5%となった。この結果、「良い－悪い」は0.9となり、1年前の調査(▲23.7)と比べ、24.6ポイント上昇した。

業種別D.I.では、製造業、サービス業、建設業、不動産業でプラスとなり、卸売業、小売業でマイナスとなった。特に小売業では、景気見通しD.I.が▲34.1と、他の業種に比べ慎重な見通しとなった。

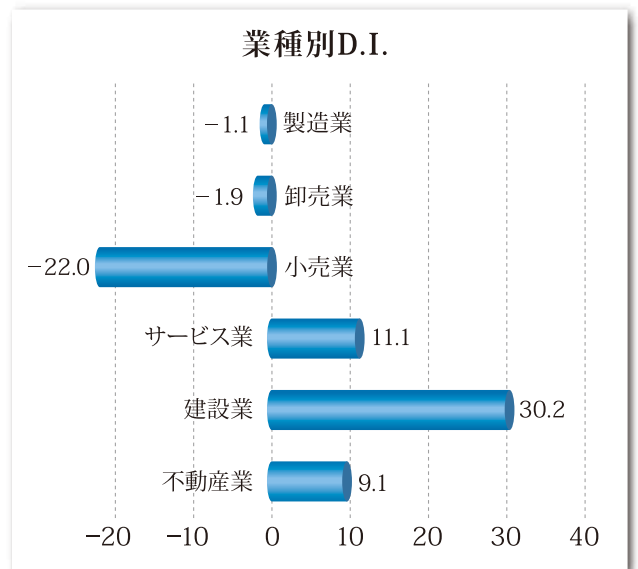
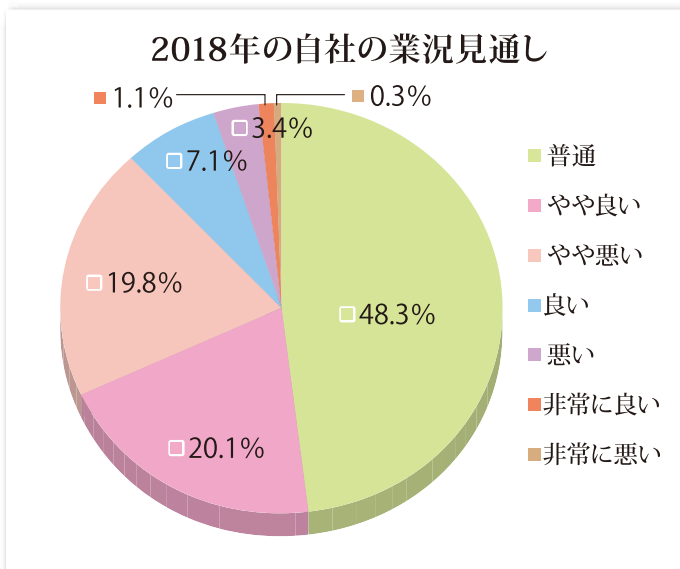


● ～2018年の自社の業況見通しについて～

自社の業況の見通しについて、「普通(48.3%)」と回答した企業が最も多く、次いで「やや良い(20.1%)」、「やや悪い(19.8%)」、「良い(7.1%)」、「悪い(3.4%)」、「非常に良い(1.1%)」、「非常に悪い(0.3%)」となった。

「良い」(「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計)と回答する割合が28.3%、「悪い」(「非常に悪い」・「悪い」・「やや悪い」の合計)が23.5%となった。この結果、「良い－悪い」は4.8となり、1年前の調査(▲1.7)と比べ、6.5ポイント上昇した。

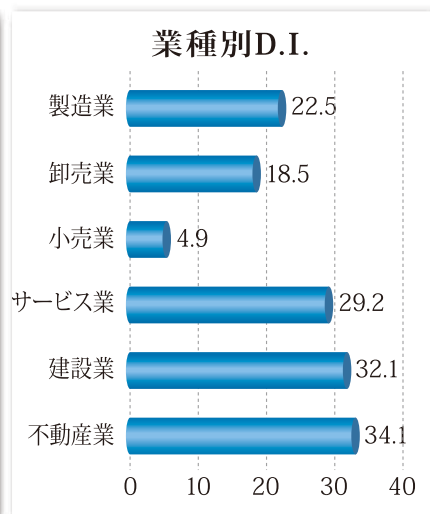
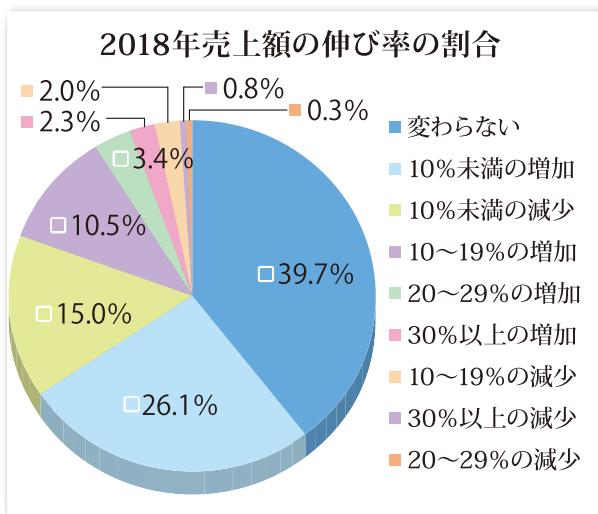
業種別D.I.では、製造業、卸売業、小売業でマイナスとなり、サービス業、建設業、不動産業でプラスとなった。特に小売業では、景気見通しD.I.が▲22.0と、他の業種に比べ慎重な見通しとなった一方、建設業では30.2と強気な見通しとなった。



○ ～2018年売上額の伸び率について～

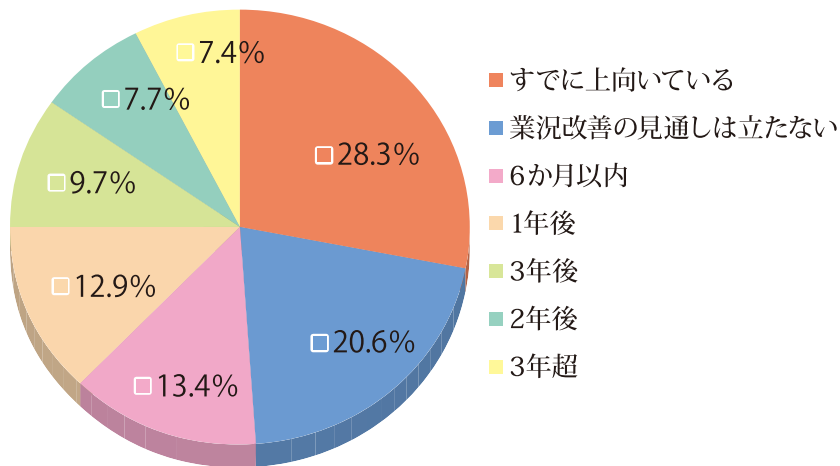
2018年の自社の売上額見通しについては、「増加」と回答する割合が42.3%、「減少」が18.1%となった。この結果、「増加－減少」は24.2となり、1年前の調査(26.9)と比べ、2.7ポイント低下した。

業種別では、全ての業種でプラスの見通しとなった。



○ ～自社の業況が上向き転換点について～

自社の業況が上向き転換点について回答割合

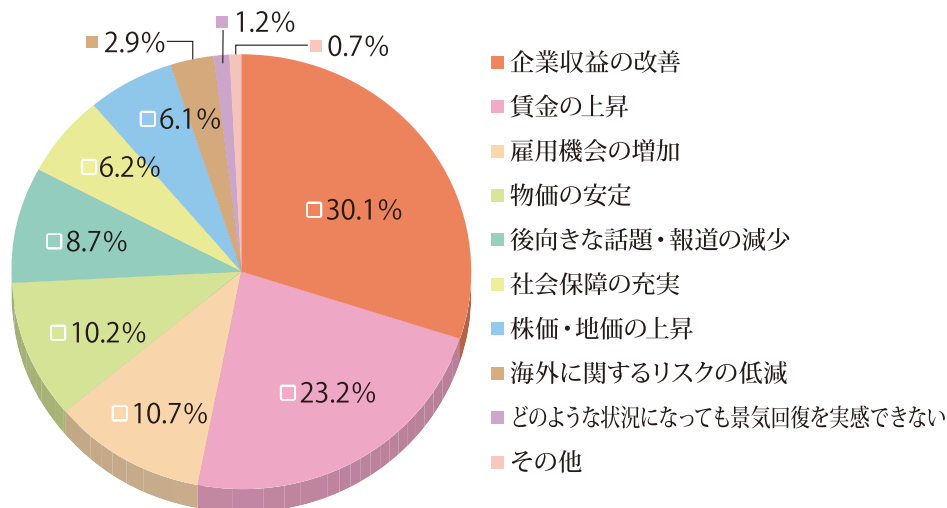


自社の業況が上向き転換点については、「すでに上向いている(28.3%)」と回答した企業が最も多く、次いで「業況改善の見通しは立たない(20.6%)」、「6か月以内(13.4%)」、「1年後(12.9%)」となった。

1年前の調査との比較では、「すでに上向いている」については、前年(21.6%)と比べ6.7ポイント上昇した。また一方で、「業況改善の見通しは立たない」についても、前年(19.3%)と比べ1.3ポイント上昇した。

○ ～景気回復を実感できるようになる状況について～

景気回復を実感できるようになる状況についての回答割合



世の中が景気回復をより実感できるようになる状況については、「企業収益の改善(30.1%)」と回答した企業が最も多かった。次いで「賃金の上昇(23.2%)」となり、上位2項目で53.3%を占める結果となった。

一方で、「どのような状況になっても景気回復を実感できない」と回答した企業は1.2%にとどまった。

イベント関連

●事業承継セミナーを実施します！

当庫のお客様向けに以下のとおり事業承継セミナーを実施します。
詳しくはお取引店までお問合せください。

■「100年続く企業の条件～究極の事業承継～」 参加費無料

日時：平成30年2月19日(月) 定員：50名
15:00～17:00 内容：後継者の考え方、後継幹部の育成の仕方にフォーカスした講演です。
場所：日新信用金庫 本店8階

●経営に役立つ少人数制のセミナーを実施します！

当庫のお客様向けに以下のとおり経営に役立つ少人数制セミナーを実施します。
詳しくはお取引店までお問合せください。

■「経営力向上計画作成実践セミナー」 参加費無料

①日時：平成30年2月21日(水) 14:30～16:30 場所：日新信用金庫 本店8階	③日時：平成30年3月9日(金) 14:30～16:30 場所：日新信用金庫 神戸支店
②日時：平成30年3月6日(火) 14:00～16:00 場所：日新信用金庫 三木支店	※各会場定員8名

■「ものづくり補助金の申請と活用のポイント」 参加費無料

日時：平成30年2月20日(火) 14:30～16:30
場所：日新信用金庫 本店8階 ※定員8名

商品関連

キャンペーン商品としてお取り扱いしております以下の商品も是非ご利用ください。


- ★スーパー定期「超パワフル」(年金お受け取りのお客様対象)
- ★スーパー定期「年金Jr.」(当庫で年金お受け取りをご予約いただいたお客様対象)
- ★子育て応援定期積金「夢すくすく」(18歳以下のお子様がおられるお客様対象)



このたびは、第7回中小企業景気動向調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。
調査結果についてのご照会、またご不明点等ございましたら、下記フリーダイヤルまでお問合せください。

 **日新信用金庫**

〒673-0892 兵庫県明石市本町2丁目3番20号

フリーダイヤル イコー ニッシンバンク
 **0120-15-2489**

(受付時間) 平日午前9時から午後5時まで